

思いやりの心を政治の場に



港区議会議員・自由民主党港区総支部 幹事長

清原 かずゆき

区政レポート

平成30年10月発行

港区議会第3回定例会が9月11日に開会され10月5日に閉会となりました。この定例会には平成29年度決算が議案として上程されて9月20日から10月4日まで審議いたしました。

今夏は、7月に西日本を襲った豪雨、通常のコースを逸脱した台風12号、そして、非常に強い勢力を保ったまま上陸した台風21号、その他にも、9月6日に北海道胆振地域で起きた最大震度7を記録した地震など、多くの自然災害が猛威を振るい各地で甚大な被害をもたらしました。被災地では、尊い命を救おうと、地域の消防団をはじめとして、警察庁・消防庁・自衛隊等の各機関が、猛暑の中、懸命な救出作業を行ったにも拘らず、多くの方がお亡くなりになりました。残念でなりません。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。また、負傷された方々、今もなお、避難所生活を送られている皆様に対しまして、一日も早いご快癒、そして、復旧復興されることを衷心より厚くお祈り申し上げます。平成29年度決算特別委員会では、総務費・民生費・衛生費・土木費の款で質問し、裏面に各質問の項目と答弁を記載しました。ご一読いただければ幸甚です。

皆様からお預かりした税金や保険料等が、有効活用されているか、常に運用状況を注視することはもとより、行財政改革の推進や福祉施策の充実や向上等、各行政分野の取り組みをチェックし、区民の誰もが安全で安心して住み続けられる港区づくりに真摯に努めて参ります。今後共、皆様の忌憚のない貴重なご意見をお寄せ下さいますようお願い申し上げます。

区議会等での経歴

平成27年4月、3期目選出

- 現在◆保健福祉常任委員会委員
交通・環境等対策特別委員会委員
◆東京都後期高齢者医療会計（港区選出）
◆自民党港区総支部 幹事長

- 経歴◆港区監査委員（議会選出）
区民文教常任委員会委員長
建設常任委員会委員長
総務常任委員会委員・行財政等、まちづくり・子育て等、東京オリンピック・パラリンピック、エレベーター事故対策特別委員会委員
◆自民党議員団副幹事長、政務調査会会長
◆港区中小企業振興審議会委員、港区中小企業融資斡旋審査会委員、港区奨学資金運営協議会委員、港区青少年問題協議会委員、港区消防団運営委員会委員、港区国民健康保険協議会委員他
◆自民党港区総支部総務会長、事務局長代理、会計

プロフィール

- 経歴◆昭和34年7月2日 白金生まれ 59歳
聖徳学園三田幼稚園
区立三光小学校、区立朝日中学校、都立三田高校、
昭和57年 日本大学理工学部卒業
◆元都議会議員清原鎌太郎秘書(20有余年)
◆元港区立三光小学校PTA会長(3期3年)

- 現在◆清原タレット工業所 清原マンション経営
◆芝納税貯蓄組合連合会 副会長
芝青色申告会 理事
白金地区防災協議会 会計監査
青少年対策白金地区委員会相談役(元会計監査)
高輪工業会 理事、第三分会 副分会長
朝日中学校同窓会 幹事
白金三光町会 副会長

- 趣味◆野球(元三光シニア、元ファミリーズに所属)
サッカー(朝日中、三田高校サッカー部に所属)
日曜大工

裏面に各項目の質問と答弁を記載しております。

◆平成 29 年度 決算特別委員会

(1) 防災対策費の支出額が当初予算より増額となった主な要因について

答弁(防災課長) 震災復興基金の積み立てを補正予算により前倒しで 40 億円積立てたため。これにより、29 年度末時点での基金残高は、540 億円となった。

(2) 震災復興基金の活用について

答弁(防災課長) 区民生活の再建、中小企業の事業の継続、小中学校や公共施設などインフラ等の復旧・復興を国及び東京都に先駆け、区が速やかに実施するために活用。

(3) 自主避難施設における直近の台風時の避難者の受け入れ体制および避難者数について。

答弁(防災課長) 台風 12 号及び 13 号において、5 箇所を開設し、区職員が夜間も常駐する体制をとった。12 号では、みなとパーク芝浦に 3 名の方が一時的に避難され、13 号では避難された方はいなかった。

(4) 災害発生時、区民が備蓄物資を円滑、公平に利用するため、平時においてどのような取組をしているのか。

答弁(防災課長) 原則として、避難所に併設している倉庫には、避難所ごとに想定している避難者数に基づいて物資を備蓄している。

(5) 区民避難所や福祉避難所となる施設には全て冷暖房設備が完備されているのか。

答弁(防災課長) 区民避難所となる施設で冷暖房設備のない 12 箇所の内 3 箇所が、いずれも小学校の体育館。平成 32 年度から 34 年度までに、冷暖房設備を設置する予定であり、時期の前倒しも検討していると聞いている。

(要望) 教訓を生かして、被災者を受入れる全ての施設に冷暖房設備を整備することは喫緊の課題だと思う、計画を前倒して早急に整備していただきたい。

(6) AI を活用した区民サービスと事務執行の迅速化・効率化に向けた、さらなる取り組みについて

答弁(情報政策課長) 実証実験として、現在、AI によるホームページの自動翻訳や保育園入園のマッチング等を進めている。区民サービスの向上など、引き続き、全国最先端の ICT 活用を目指し取り組んでいく。

(7) 新空港の整備を東京都や国に要望することについて

答弁(企画課長) 委員ご提案の新空港の整備を東京都や国に要望することについては、国の空港政策を見据えながらの長期的な研究課題とさせていただきたいと考える。

(8) 今後、ますます高齢者人口が増える中で、介護予防総合センターを中核施設として介護予防のさらなる推進にどの様に取り組んでいくのか。

答弁(高齢者支援課長) 今後、区民一人ひとりの介護予防

の取組を継続的に支援するため、情報の収集・発信のほか、介護予防事業参加時における身体状況や生活機能などの経年変化を継続的に把握し、各自に適した介護予防プログラムの提供に努める。

(9) 介護保険サービスに対する苦情や相談を利用者やその家族等から受付けている。どのような相談があるのか。

答弁(介護保険課長) 居宅介護支援、訪問介護サービス提供内容に関しては、ケアマネージャーが、利用者の希望するサービスを入れないことや、ヘルパーがケアプランに基づくサービスを行わないことなどの苦情が多く寄せられている。また、介護サービス利用料の請求内容が分かりにくいなどの苦情がある。

(10) 災害医療対策について

答弁(保健予防課長) 発災後 3 日までは区内 9 病院に緊急医療救護所を設営し、トリアージや軽傷・中等症、重症の応急処置を行う。

(11) 災害時の医薬品の管理、供給や配布体制について

答弁(保健予防課長) 医薬品や医療資器材などは、日頃より区内 11 か所に発災直後の外傷等に対応する医薬品や医療資器材を備蓄し、定期的に入替を行っている。避難された方については、避難所において薬剤師班が一般用医薬品を用いた被災者の健康管理支援を行う。今後も避難者が医薬品を安心安全にお使いいただけるよう体制を整えていく。

(12) 将来予測される、都市高速鉄道、白金高輪駅のホームの混雑の緩和について

答弁(地域交通課長) 今後も駅周辺における開発事業の機運が高く、将来に渡り区内の各駅におけるホームが混雑する可能性がある。区は、鉄道事業者に対し、ホームの混雑緩和に繋がる輸送力増強等の施策や、エレベーターやエスカレーター設置等による駅施設の改善、乗客へのオフピーク通勤の呼び掛け等の実施を要望していく。

(13) 白金・白金台地区の交通不便解消に向けたタクシーの実証走行について

答弁(地域交通課長) 今後、10 月までに、収集した利用データの分析や、モニターの方へのアンケート調査、また、運行事業者へのヒアリング等を行い、モニター実験の効果検証を行っていく。その後、本格実施に向け、利用者、利用対象者や利用形態の設定を検討するなど、来年度の本格実施を目指し、検討をしていく。

清原 和幸 事務所 〒108-0072 白金 3-18-12
携帯電話番号 090-5396-5858
電話番号 03-3444-6541
港区議会ホームページ
<http://www.gikai.minato.tokyo.jp>